



ぼくたち負け組クラブ

クレメンツ作 田中奈津子訳 こうだんしゃ 講談社

六年生のアレックは、生まれたときから、本が大好き。いったん読み始めると途中でやめられないので、クラスの男子から、皮肉を込めて「本の虫」と呼ばれています。九月から、毎日放課後プログラムで、学校に三時間居残りすることになりました。アレックは、だれにもじやまされずに、本を読みまくるため、新しいクラブを作りました。その名も「負け組クラブ」。これには、アレックのある狙いがあったのです。登場した本のブックリスト付き。読みたい本が見つかるかも！

